

柑橘4月の管理

伊豆農業研究センターの生態調査によると、柑橘の肥大については甘夏は平年並み、日向夏はやや小玉傾向で推移しています。内容品質については、糖度、酸切れともに平年並みとなっています。

近年春先の降雨により甘夏の果皮障害やニューサマーの水腐れ症が多発し、収穫量や秀品率に大きな影響を与えています。天候には十分注意し、状況に応じて早期に収穫し貯蔵するなど対応をしてください。

温州みかん・ポンカン等、収穫の終了した園地でミカンハダニ・サビダニの被害がみられる園は、病害虫防除の欄を参考に防除を行って下さい。

柑橘生態(伊豆農業研究センター調べ)

表1 果実肥大(平成30年2月27日現在)

年度	ヒュウガナツ			川野ナツダイダイ		
	横径 mm	縦径 mm	果形 指数	横径 mm	縦径 mm	果形 指数
29	64	56.8	113	94.6	75	126
平年	71.0	61	116	97.8	75.3	130
28	70.9	61.9	115	102.1	77.5	132
27	62.7	53.7	117	99.4	79.2	125

表2 果実品質(平成30年2月28日現在)

年度	ヒュウガ ナツ		川野ナツ ダイダイ		不知火	
	糖度 Brix	酸 %	糖度 Brix	酸 %	糖度 Brix	酸 %
29	10.5	2.03	10.9	2.74	13.8	1.09
平年	10.4	2.02	11.1	2.29	14.7	1.26
28	10	2.00	10.8	2.36	14	1.25
27	10.1	1.84	11.5	2	15.6	1.17

(1) 施肥管理

① 花肥の施用

樹勢回復、着果率の向上、新梢の緑化促進のため、開花20日前に硫安(1袋/10a)を施肥しましょう。去年多収だった樹や、今年の着花が多い樹には必ず施用してください。なお、開花20日前の目安は蕾がマッチ棒大になる頃です。遅れると効果が薄れますので、樹の状態をよく観察し適期に施用するようにお願いします。

② 除草

気温の上昇とともに降雨量も多くなり、春草の生育の勢いがよくなります。草が繁茂していると地温が上昇せず、肥料の吸収が低下します。また養水分の競合を引き起こします。効果的な施肥を行うために、施肥の前には除草を行ってください。

(2) 病害虫防除

冬季及び3月のマシン油の散布を行っていない園ではマシン油乳剤100倍を散布してください。4月のマシン油はサビダニの防除に有効です。散布ムラの無いよう丁寧に散布してください。なお、ボルドーとマシン油の散布間隔は2週間以上あけてください。また、樹勢の落ちている樹には散布しないでください。

クワゴマダラヒトリの防除は、幼虫の成長が進むと薬剤の効果が薄くなりますので若齢幼虫のうちに行ってください。また、毛が薬剤をはじくので、展着剤を加用すると効果的です。

マデックEWの総使用回数は1回です。マデックEWを使用していて、後期落果防止の追加防除を行いたい場合は、ターム水溶剤1000倍を散布して下さい。

表3 4月の防除

時期	品種	対象病虫害	薬剤名	倍率	安全使用基準
4月中旬～下旬	温州等	そうか病	マネージDF	6,000	30日前-3回
		ハダニ・サビダニ	マシン油乳剤	100	-
発生時	柑橘全般	クワゴマダラヒトリ	オリオン水和剤	1,000	14日前-5回
発生時	柑橘全般(苗木等)	アブラムシ・ミカンハモグリガ	アドマイヤーフロアブル	4,000	14日前-3回
			アクタラ顆粒水溶剤	3,000	14日前-3回
収穫前	日向夏・甘夏等	貯蔵病害	ベフラン液剤	2,000	前日-2回
			ベンレート水和剤	4,000	前日-2回
	日向夏	へた落ち	マデックEW	3,000	20~10日前-1回
	日向夏・甘夏等	後期落果防止	ターム水溶剤	1,000	14日前-2回

(3) 収穫・選果

① 収穫

例年、はさみキズによる腐敗が多く見られます。収穫の際は丁寧に2度切りを行い、コンテナに移す際もできる限り低い位置から移すようにしてください。また、収穫の際に果梗枝の元から切ることで剪定の労力を軽減できます。

② 選果

キズ果、フケ果、外観不良果等は家庭選別を徹底してください。また、ニューサマーでは原料と生食の区別をはっきりしましょう。生食で格外になると手数料分マイナスになります。原料で使えるものは生食には入れずに原料で出荷することで収入の向上につながります。

(4) 苗木の植え付け

植え付けの適期は3月中旬から4月中旬です。幅80~100cm、深さ40~50cmの植え穴を掘り、ハイミン2kg+苦土セルカ2kg+重焼燐1kgを土と良く混和し植え付けを行ってください。最後に支柱を立て固定してください。植え付け後は十分に灌水を行い、根の活着を促進させましょう。また、鹿やウサギなどの被害がある園地では獣害対策用ネットや金網で苗木を囲い被害を防いでください。

※農業安全使用基準を厳守し、出荷前に必ず防除履歴を提出しましょう！！

JA伊豆太陽東部営農センター 0557-95-3614